

第2学年〇組 保健体育科学習指導案

指導者 〇〇 〇〇

1 単元 球技（ベースボール型）

2 本単元の指導にあたって

○生徒観

本学級の生徒は、落ち着いて安全面に気を配りながら授業に取り組むことができる。体を動かすことが好きな生徒も多くいる。1年時にソフトボールを学習しており、おおまかなルールや基本技能を理解している。そこで、基本技能であるバット操作や捕球動作からの送球などをウォーミングアップに取り入れ、ペア活動を仕組んで基本技能が向上するようにするとともに、視覚で捉えやすいようにモデルを示した学習プリントを準備して教え合いや振り返りができるようにする。このことは、一人ではなくチームとしてのつながりや協力する大切さを考えることができ、味方や相手チームの事も考え、ルールや用具、場所などを工夫することで、みんなが全力で対戦することができるので、自ら課題を見つけ解決する生徒を育てるうえでも意義深い。

○教材観

本教材の球技は、ゴール型、ネット型、ベースボール型などから構成され、個人やチームの能力に応じて作戦を立て、集団対集団、個人対個人で勝敗を競うことに楽しさや喜びを味わうことができるようにする教材である。

本単元で取り扱うベースボール型は、身体やバットの操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻守を規則的に交代し、一定の回数内で相手チームより多くの点数を競い合うゲームである。また、ベースボール型の学習においては、ボールや用具の操作とボールを持たない時の動きに着目させて、学習に取り組ませることが必要である。チームで協力して攻撃や守備で連携する必要があるため、チームプレイや作戦を工夫することにつながる。これらのことから、仲間とともに楽しみながら課題解決に向かおうとする子どもの姿を養ううえで価値がある。

○指導観

本単元の指導においては、ルールや行い方を工夫すれば、全ての人が球技（ソフトボール）を楽しむことができるということを理解させたい。そのために、アダプテッドスポーツのボッチャを活動に仕組み、チームで話合ってアドバイスしたり、作戦を考えたりすることの楽しさが実感できることを理解させる。また、そのことがチームスポーツには大切であることに気づくことができるようにしたり、チームで協力してソフトボールの学習に取り組むことができるようにしたりする学習計画を立てる。

特に本時では、お互いが全力で楽しんで簡易ゲームに参加できるように、ルールの工夫を行う。個人や班、対戦チームが工夫したルールを考え、そのルールをもとに簡易ゲームを行う。

そのために、まず、「三輪スタンダードであう段階」のパターン④「モデルを示して」として、課題設定を行う。これにより、生徒が自分の学びの道筋を自覚できるようにするとともに、本時学習の学習活動においても見通しを持って取り組むことができるようにする。次に、展開では、「三輪スタンダードつくる段階」において、ソフトボールの技能であるバット操作、捕球から送球、走塁など、状況に応じた基本的な技能を高める活動を考えていく。さらに「三輪スタンダードふかめる段階」において、段階的な簡易ゲームを取り入れていく。その際、毎時間の終末には、個人の反省や目標を班や全体で交流する活動を仕組む。これにより、個人ではなくチームとしての考えをまとめたり、協力したりすることが必要だとより深く理解することができるようにする。

最後に、単元末では「三輪スタンダードふりかえる段階」において、生徒自身で本時学習をまとめる時間を設定し、学びの自覚をすることができるようにするとともに、単元終末でも、学習をふりかえる活動を位置づけ、自分の成長を言語化して交流することで、学習における自己の成長を感じることができるようにする。これは、次の単元において、学びに向かうための意欲を向上させるうえでも意義深い。

3 目標

- (1) 技術の名称や行い方、運動観察の方法などを理解するとともに、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備によって攻防できることを捉えることができるようにする。
(知識及び技能)
- (2) 攻防する中で自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、自主的に取り組むとともに、作戦やルールの工夫についての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすること、健康・安全を確保することができる態度を育てる。
(学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画（総時数 10時間）本時⇒●

次	学習活動・内容	主 眼	三輪スタの活用方法
一 ②	①ポッチャを通して、楽しみ方を考える。	○用具、コート、ルールを工夫することができる。	三輪スタ（であう③） ・多様な球技を経験することによって、楽しむための多様な方法を理解することができるようにする。
	②映像視聴を通して、ソフトボールについて知る。	○ソフトボールの特性を知り、興味・関心を持つことができる。	三輪スタ（つくる） ・授業の進め方や映像視聴をすることによって、今後の見通しが持てるようにする。
二 ⑤	③簡易ゲームを通して、基本技能を確認する。	○基本技能を活用し、簡易ゲームができる。	三輪スタ（であう④） ・簡易ゲームをすることによって、攻撃や守備ができるようにする。
	④バット操作の練習を通して、ボールの捉え方について学習する。	○タイミングよくボールを捉えるバット操作ができる。	三輪スタ（つくる） ・経験者をモデルに視覚的に捉えさせることによって、バット操作を理解しボールを捉えることができるようにする。
	⑤チーム練習を通して、守備の仕方について学習する。	○打球に対する守備の仕方を身につけることができる。	三輪スタ（つくる） ・経験者をモデルに視覚的に捉えさせることによって、捕球の仕方や走者をアウトにすることができるようにする。
	⑥簡易ゲームを前半に行い、その結果をもとに工夫できるルールを考える。	○ゲームの中で、身につけた技能を発揮することができる。	三輪スタ（ふかめる） ・簡易ゲームをすることによって、身につけた技能がどこで発揮されるのかを理解することができるようにする。
	⑦簡易ゲームを通して、みんなが楽しめる工夫したルールについて考える。	●チームが全力で戦える工夫を見つけることができる。	三輪スタ（ふりかえる） ・前時の課題を出し合うことによって、ルールを工夫し全員で一生懸命取り組むことができるようにする。
三 ②	⑧リーグ戦を通して、工夫したルールを見直す。	○自作のルールを使い、全力でリーグ戦を行うことができる。	三輪スタ（ふかめる） ・ルール等を工夫することによって、一生懸命簡易ゲームに取り組むことができるようにする。

	⑨前時の振り返りを通して、さらに工夫したルールをもとにリーグ戦を行う。	○自作のルールを使い、全力でリーグ戦を行うことができる。	三輪スタ（ふかめる） ・学習プリントで視点を提示することによって、ルール等を工夫することができるようにする。
四 ①	⑩これまでの学習を活用してゲームを行い、学習内容を振り返る。	○学習内容を振り返り楽しんでゲームができる。	三輪スタ（ふりかえる） ・単元の振り返りを行うことによって、次の単元につなげることができるようにする。

5 本時の授業評価指標（ルーブリック）

三輪スタンダードで重視する段階（ふりかえる） 仲間とともに協力してゲームを楽しむことができるように、個人やチームのルールを工夫することができるようにする。			
評価項目	C	B	A
ねらいの達成状況	自分の成績に対し、工夫するルールを考えることができる。	自分とチームのメンバーについて、工夫するルールを考えることができる。	仲間とともにルールを工夫することで、楽しんでゲームをすることができる。
目指す子どもの姿（発言・行動など）	自分の工夫したルールを、学習プリントに書くことができる。	チームの中でアドバイスが増え、班で協力して自作のルールを作ることができる。	仲間と楽しんでゲームに取り組むことができる。

評定	評定の根拠	代案

6 本時案

(1) 主眼

○チームの全員が楽しむためのルールを工夫することができる。

(2) 日時 令和2年10月30日(金) 第5校時 於：運動場

(3) 学習の展開 (50分)

	主な学習活動と内容	三輪スタの工夫	分
であう	<p>1 本時の学習内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の流れとめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>全員が楽しんでゲームができるように、ルールを工夫しよう</p> </div>		⑩
つくる	<p>2 準備体操と主運動につながる運動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備体操 ・soft up 打撃 (トス・ラケットバッティング、スティックスイング、) 守備 (キャッチボール、ゴロキャッチ、ステップ投げ) <p>3 前時の記録カードをもとに、ルールの改定を行う。</p> <p>(1) 自チームで話し合いを行い、カードに記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【攻撃】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールの種類 (ハイバウンド、新聞、スポンジ) ・バットの種類 (空バット、テニスラケット、ティバット) ・打撃 (トス、ティー) ・コートの広さ <p>【守備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローブの種類 (タンバリン) ・塁間の長さ (+1 m、+2 m、+3 m) ・アウトカウント </div>	<p>○ソフトボールにつながる動きを身につけさせるために、バッティング練習を行わせる。</p> <p>○前時のゲームの様子を共有させるために、ゲーム記録カードや学習プリントを見返すようにさせる。</p> <p>○話し合いがスムーズに進むように、視点を示したカードを準備する。</p>	⑩
ふかめる	<p>(2) 対戦チームと確認を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相互のカードを交換し、条件について話し合う。相互のチームが全力を出して、50:50の試合になるようにする。 <p>(3) 相互で確認ができれば簡易ゲームを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本のルール <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・捕手は攻撃側から出す ・三角ベース </div>	<p>○自チームだけが有利になるようなルールではなく、全員が全力で楽しめるように、対戦チームとルールの確認を行う場を設定する。</p> <p>○スムーズにゲームができるように、基本のルールを設定する。</p>	②⑩
ふりかえる	<p>4 本時のまとめと振り返りを行う。 学びを振り返る活動</p> <p>(1) 本時のまとめを個人で行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>みんなで楽しむために、ルール (例：バットをテニスラケットに変更し、ボールを捉えやすくすること) を工夫した。</p> </div> <p>(2) 全体で意見を交流し、振り返りを行う。</p>	<p>◎まとめを行うために、考えを記述させるプリントを準備する。</p> <p>◎全体で交流するために、記述をもとに全体で交流させる。</p>	⑩